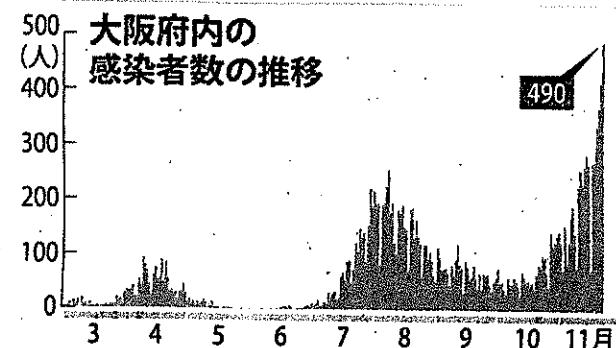


11/23毎日

大阪感染490人 東京上回る

大阪府内の
感染者数の推移



大阪府は22日、新たに490人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

1日あたりの人数としては過去最多で、2日連続で400人を上回った。東京都

はこの日、391人の感染者が出たと発表。都道府県別では大阪の感染者数が全国で最多となつた。

(25面に関連記事)

日以降、4日連続で過去最多を更新している。

府によると、検査数は2611件で陽性率は18.9%に上った。重症者は4人増えた。【松本光樹】

全国は2168人

府内では、22日までの1週間で前週比約1.4倍にのぼる2228人の感染が確認された。11日に2156人の感染が判明し、「第2波」のピークだった255人(8月7日)を超えた。その後、338人と初めて300人を上回った11月19

今月22日に全国で新たに確認された感染者数は2168人で、5日連続で200人を超えた。クルーズ船の乗客乗員らを合わせた国内の感染者は13万391人。新潟県は今月20日、愛媛県は21日に陽性と発表した各一人を取り下ろした。

最悪想定で10日後パンク

11/23(毎日)



大阪府による「12月19日時点」の新型コロナウイルス感染者数シミュレーション(人)

12月18日			12月19日	12月20日	12月21日	12月22日	12月23日	12月24日	12月25日	12月26日	12月27日	12月28日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日
重症 (215床)	72	194	405	520	1509	3578	475	1320	3502	460	1613	4280								
宿泊療養 (1517床)																				
自宅療養																				

※□は目標確保病床数(カッコ内の数字)をオーバーした状態

新型コロナウイルスの感染者が急増している大阪府では、重症者用病床だけでなく、軽症中等症者用の病床確保も継続での状態となっている。府は18日、最悪の場合、1ヶ月後に目標確保病床数(1400床)の2・6倍にあたる約3600人の患者が発生するシミュレーション結果を明らかにした。重症に分類されないままとなるケースも少なくないため、手遅れの対応は許されない。20日時点で実際に稼働できるのは929床などある。府は19日医療体制を最高の「フェーズ4」に移行し、医療機関への協力依頼を強めている。

(一面参照)

軽中等症病床も危機

新型
コロナ

3ぞ1000床ど、段階的に確保目標を増やしてきただ。

しかし、感染拡大のスピードに追いつかない恐れが出ている。府が18日の対策

合計

病状悪化、死亡も

気にならぬのが、軽症中等症患者は、11月20日時点でのシミュレーションによる

コロナ対策医療支援金

寄付名を明記して郵便振替か現金書留で。振込手数料はご負担ください。物品は不可。紙面掲載で匿名希望の方は通信欄にその旨を明記してください。

〒530-8251(住所不要)
毎日新聞大阪社会事業団
(郵便振替00970・9・12891)

大阪府、医療機関に確保要請

国内の新型コロナウイルス感染者

※22日現在。自治体取材などに基づき、重複の可能性がある。再陽性の一部も含む。カッコ内は前日午後10時半以降の増加数

国内での空港検査など1436人(+12)・死者1人を含む

確認例

感染者	死者	感染者	死者	
北海道 森 青岩 秋山 福井 群島 千葉 東京 川 渕山 木 馬 五葉 葉 37708(+391)	7139(+245) 280 137(+10) 1100(+9) 107(+2) 476 1252(+47) 572(+14) 1045(+12) 7626(+115) 6388(+80)	149(+3) 6 1 1 1 1 1 21 132(+1) 86	741(+5) 2494(+24) 4785(+139) 973(+12) 385(+5) 53 142 498(+13) 750(+9) 352(+9) 179(+1) 132 208(+23) 146 5543(+30) 293 261(+1) 970 219(+10) 427(+14) 597 3999(+32)	9 35 277 79 11 4 11 6 2 9 4 106 1 3 12 3 1 13 68
福岡 大分 宮崎 鹿児 島根 島城 木 馬 五葉 葉 37708(+391)	11341(+163) 301(+6) 445(+3) 835(+2) 302(+2) 320(+4) 606(+4) 918(+7) 1220(+44) 8831(+144)	479(+1) 26 49 11 7 6 13 5 106(+1)	185(+1) 106 1 3 12 3 1 13 68	
沖縄 那覇 知 重	720(+15)	7		

ダイヤモンド・プリンセス(横浜) 712人 うち死者13人

コスタ・アトランチカ(長崎) 149人

チャーター機帰国者 14人

合計 133912人(+2168) うち死者2001人(+7)

退院・療養解除 111822人 ※22日午前0時現在

状況で入院や療養をしていながら、その後重症化した感染者も248人いた。軽症や無症状からいかに確実に回復できるかが、病床の確保だけでなく、命を守ることに直結すると言える。最悪のシナリオが現実味を帯びる中、府は病床の確保を急いでいる。「軽症中等症患者が700人以上」としてしたフェーズ4への移行基準を遵守していくは間違いないと判断し、前倒しして移行した。入院基準は、65歳以上(マ)血中酸素濃度が93~96%でも息切れがあることとするが、該当するケースでも、医師が可能と判断すれば宿泊施設での療養で対応できることとした。医療機関に対し、長期入院患者の転院や退院を検討して病床の効率的な運用を図るよう求めた。

関西福祉大の勝田吉彰教授(渡航医学)は、冬に向けて感染者が増えてきた現在の状況は想定内とした上で、「今後の府民の行動次第では、病床のシミュレーションが現実になる可能性もある」と警鐘を鳴らす。府の対応については、「感染者が拡大する前に」府民の行動変容を促す強いメッセージを出すことも必要だつた」と指摘。特定のたんぱく質の血中濃度から重症化リスクを予測する研究報告もあるとし、「リスクの高い人を事前にピックアップするなど、最新の知見を活用して重症化を食い止めることが重要だ」と話している。【松本光樹、近藤謙】